

(様式4)

令和8年3月1日

富山県教育委員会教育長 殿

学 校 名 富山県立高岡支援学校
校 長 氏 名 山 川 俊 幸

令和7年度学校総合評価を別紙(様式5)とともに提出します。

令和7年度 学校総合評価

6 今年度の重点目標に対する総合評価

今年度の重点課題として、①VRゴーグル・360度カメラを活用したバーチャル体験学習の促進、②地域の事業所や住民等との連携を通じたスポーツ・文化芸術等の生涯学習活動への参加の奨励、③PTA活動への積極的な参画につながる引継ぎファイルの工夫や活動内容の見直しについて取り組んだ。

①は新しい技術を授業で活用していくための教材作成や教員対象の研修会の開催や他校との情報交換を行うことができた。②は地域住民の来校の機会や児童生徒との触れ合いの機会を多くすることで、本校の児童生徒への理解が深まったり、児童生徒の活動意欲や地域の一員としての意識が高まったりした。また児童生徒が利用している地域でのスポーツ・文化芸術等の生涯学習活動の案内をすることで、保護者の生涯学習活動の理解促進を図れた。③は引継ぎファイルによって次年度への企画、運営の在り方や活動内容を次年度に引き継ぐ仕組みが整えられた。またベルマークの仕分け・収集活動については、保護者の主体的な参加が見られた。

いずれの課題も本校の喫緊の課題であったが、いずれも目標を達成し、学校経営の改善を図ることができた。

7 次年度へ向けての課題と方策

学校教育計画の中から喫緊の課題として、①学校ボランティア協力での学習環境づくり等の体制づくり、②本校の研究主題をベースに教科の系統性についての研究、③寄宿舎での地震に特化した防災意識の向上を挙げた。詳細な方策については、令和8年度の教育後援会、研修部、舎務部が中心となり課題解決に向けて取り組む予定である。